



一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム特集

大学等連携推進法人の認定に向けて

「一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム」が令和4年(2022年)12月6日に設立されました。

山口大学,山口県立大学,山口学芸大学の3大学がそれぞれの強みや特色を活かし、人的・物的リソースを相互に補完することにより、教育研究機能の強化のための事業を連携して実施し、地域との共創によって、地域が求める人材育成や地域社会の振興と発展に寄与することを目的としています。

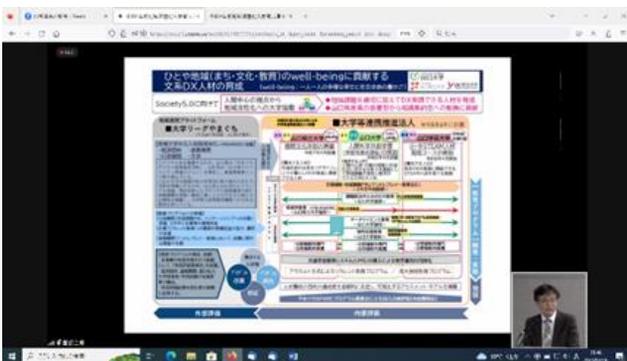
昨年の12月27日に開催した理事会及び臨時総会において、「大学等連携推進方針」や「令和5年度事業計画」等が承認され、法人の取り組みがスタートしました。法人の活動や3大学のSPARC事業を紹介するウェブサイトも開設しました。

<https://www.yamaguchi-kyoso.jp/>



コンソーシアムのウェブサイトより

令和4年度地域活性化人材育成事業～SPARC～キックオフシンポジウム



全国で6件(タイプA:3件、タイプB:3件)採択されたSPARC事業の取り組みの紹介や今後の展望を語るパネルディスカッションを通じて、SPARC事業の趣旨を広く発信するため、2月2日にキックオフシンポジウムが開催されました。シンポジウムでは、金沢大学特別顧問の山崎光悦氏による「地方創生を担う地域中核大学の人材育成～金沢大学の教育改革から～」と題した基調講演や、文部科学省高等教育局大学教育・入試課の早川課長補佐によるSPARC事業の趣旨説明、採択事業の紹介、パネルディスカッション等が行われました。

本学がかかわる「やまぐち共創大学コンソーシアム」の事業紹介は、コンソーシアム専務理事の松野浩嗣・山口大学理事・副学長が行いました。事業の目的が文系DX人材の育成であり、連携開設科目の実施に向けて3大学で検討してきたLMSの構築や、異なる学年暦や授時間への対応など、具体的な取り組みを説明しました。併せて、やまぐち共創大学コンソーシアムが5月中旬に開催を予定しているキックオフシンポジウムの紹介も行いました。





現場密着型地域人材育成 産学研連携教育課程 イノベーション

「地域活性化人材育成事業～SPARC～」の一環として、韓国慶南大学校から姜在寛(カン・ジェガン)産学副総長ほか5名をお招きして、一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアムと共催で2月1日に標記セミナー(国際文化学部FD)を開催しました。

慶南大学校で実施している「イルモリPBL」(イルモリとは直訳で「仕事ができる頭」の意味)について、姜副総長、鄭恩姫 LINC3.0事業団イルモリ教育本部長、李眞姫 イルモリ教育メンター教授の3名が発表を行いました。発表では、「勉強頭脳」と「イルモリ」の違い、慶南大学校のイルモリ教育の体制やインフラ構築、イルモリPBL教授法、さらには運営事例紹介など幅広く説明がなされました。SPARC事業において3大学の合同実施科目としてのPBLに今後取り組む上で、示唆に富んだ内容でした。

本学のSPARC事業として、今後も、シンポジウムやセミナーなど、本学独自の事業を実施していく予定としています。取り上げたい案件やテーマがありましたらご連絡ください。

なお、本学与慶南大学校では、地域共生センター間で、教育研究、セミナー、ワークショップなどの共同運営や教員・学生交流について協力することで同意しました。このため、今回の来県のを捉えて、吉村副学長(大地共創担当)と姜産学副総長が覚書に署名しました。地域貢献活動において、さらなる交流の深化が期待されます。



SPARC推進室 室員紹介①

末本哲雄(すえもと てつお) 特任准教授

SPARC推進室には、2名の特任教員、1名の専門監、2名の職員が配置されています。



こんにちは、SPARC推進室の末本 哲雄です。2023年1月1日付で山口県立大学に着任しました。SPARC事業ではプロジェクト型学習(PBL)の担当を始め、大学連携授業の運営や正課外の学修支援など、大学教育のICT化に携わる予定です。教育改善の担当者(Faculty Developer)として大学教員になり、ICT活用教育を推進するかたわら、化学実験や看護実習の教材を作ったり、アカデミック・レポートの書き方を教えたり、科学論、哲学、学習論、文学、問いづくりの授業を開講したりしてきました。この過程で「これから大学で学んでいく学生は1年生で何を学ぶべきか?」という初年次教育における教養教育の在り方に強い関心を持っています。学生さんがより良い学びを得られるように努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

編集後記

SPARC推進室ニュースレターVol.2をお届けします。SPARC推進室は、1月から北キャンパス3号館3階にて新たなスタッフも迎え、活動が本格化してきました。コンソーシアムが設立され、コンソーシアム内に設置した2つの委員会(企画運営委員会と連携教育プログラム委員会)や、タスクフォースチームへ参加し、事業及び予算、広報、連携開設科目、LMS構築などの協議を3大学で進めています。タスクフォースチームは、「連携開設科目」「LMS構築」「高大接続」「教学IR」の4つの会議が動いています。

今後SPARC事業について、より多くの方々、特に当事者でもある学生の皆さんにも、事業の目的や目指す方向性などを知ってもらえるよう努めます。皆様方のご協力をお願いいたします。

< SPARC推進室 > 内線:6264 E-mail : sparc-kendai@office.yamaguchi-pu.ac.jp

